

## 「建築物の耐衝撃設計に関するワークショップ」プログラム

開催日時：2010年3月17日(水)・18日(木)

開催場所：東京工業大学すずかけ台キャンパス G5棟 1階講義室(G511)

共催：日本建築学会耐衝撃性能の評価小委員会、東京工業大学応用セラミクス研究所

参加費：無料，資料代：無料，(ただし，リフレッシュメント代として1,000円徴収)

懇親会：第1日(17日)のワークショップ終了後に開催(実費3,000円)

お問合せ先：東京工業大学 応用セラミクス研究所 E-mail: [info.secure@msl.titech.ac.jp](mailto:info.secure@msl.titech.ac.jp)

総合司会

坪田張二(前橋工科大学)

副司会

向井洋一(奈良女子大学)

(発表時間20分，セッション内討論20分)

### 【第1日】3月17日(水)

12:50 開会の辞

橘英三郎(大阪大学)

#### 13:00~14:40 Session 1 設計法

1 - 1 ガイドラインの作成方針

中村尚弘(竹中工務店技術研究所)

1 - 2 昭和20年以前の耐爆構造と設計法

西村康志郎(東京工業大学)

1 - 3 衝撃荷重に対する建築構造設計

岡本隆之祐(山下設計)

1 - 4 米国陸軍技術マニュアルTM5-1300の概要

濱本卓司(東京都市大学)

14:40~14:50 休憩

#### 14:50~16:30 Session 2 設計荷重

2 - 1 建築構造物への衝突荷重の設定

加納俊哉(JSOL)

2 - 2 建築構造物への爆発荷重の設定

太田敏郎(伊藤忠テクノソリューションズ)

2 - 3 列車衝突による衝撃荷重を受けるRC防護壁の耐衝撃性能評価

久森崇彦(JSOL), 橘英三郎(大阪大学)

2 - 4 ガス爆発による鉄筋コンクリート部材の衝撃応答

染谷雄史(東京ガス), 龍崎響(東京ガス), 緒方雄二(産業技術総合研究所),  
久保田士郎(産業技術総合研究所), 大野友則(防衛大学校)

16:30~16:40 休憩

16:40~18:00 Session 3 応答解析

3 - 1 構造部材の局部応答と全体応答

井元勝慶(テラバイト)

3 - 2 衝撃解析用ソフトの現状

西田明美(日本原子力開発機構)

3 - 3 原子炉建屋の耐衝撃設計

大橋康裕(清水建設)

18:30~20:00 懇親会:東京工業大学すずかけ台キャンパス すずかけホール 3F ラウンジ

【第2日】3月18日(木)

9:00~10:40 Session 4 鉄筋コンクリート構造

4 - 1 鉄筋コンクリート梁部材の性能クライテリアに対応した耐衝撃設計法の提案

岸徳光(室蘭工業大学大学院)

4 - 2 動的衝撃加力を受けるRC柱のせん断強度に関する研究

高木仁之(明治大学), 白石一郎(日本工業大学), 三原愛未(九建設計)

4 - 3 動的荷重を受ける鉄筋コンクリート造柱梁接合部の力学的性状

小川勤(日本原子力発電), 中西三和(日本大学), 安達洋(日本大学)

4 - 4 短繊維補強および連続繊維補強コンクリートの耐衝撃性

小尾博俊(大成建設技術センター)

10:40~10:50 休憩

10:50~12:10 Session 5 鋼構造

5 - 1 鉄骨部材の破壊モードと耐衝撃性

崎野良比呂(大阪大学), 西田明美(前掲)

5 - 2 鉄骨造の脆性破断に及ぼすひずみ速度の影響

中込忠男(信州大学), 山田文富(千葉工業大学), 服部和徳(ベターリビング)

5 - 3 爆薬を用いた高力ボルト摩擦接合部の衝撃破壊

加藤政利(構造安全研究所), 平井敬二(西日本工業大学)

12:10~13:10 昼食

13:10~14:30 **Session 6 進行性崩壊**

6 - 1 進行性崩壊解析レビュー

竹脇出(京都大学)

6 - 2 進行性崩壊に関する設計ガイドラインの調査

濱本卓司(前掲)

6 - 3 リダンダンシーに優れた鋼構造建築物のための崩壊制御設計ガイドライン

作本好文(新日鉄), 加村久哉(JFE 技研)

14:30~14:40 休憩

14:40~16:00 **Session 7 非構造部材**

7 - 1 構造被害と非構造被害(被害調査)

竹内義高(大林組)

7 - 2 非構造部材と随件事象

井川望(鴻池組技術研究所)

7 - 3 板ガラス面垂直方向の重量物衝撃実験について

脇山善夫(建築研究所)

16:00~16:20 **サマリー**

向井洋一(前掲)

16:20~16:30 **閉会の辞**

野中泰二郎(京都大学名誉教授)